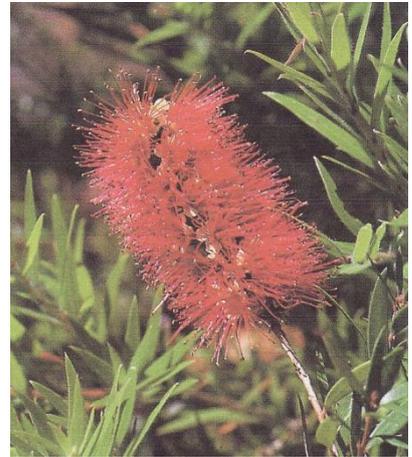




## カリステモン（ブラシノキ）の庭植え

Q. 庭に小形で美しく、ちょっと自慢できるような外国産の木を植えたいのですが、何がよいでしょう。

A. カリステモン（ブラシノキ）はどうですか。寒さに強い常緑低木で、春から初夏に赤い花が見事に咲きます。



ポイント・・・カリステモンはオーストラリア原産で、高さ2～3mに育ちます。長いおしべが集まって、ガラス瓶を洗うブラシのような花が咲くので、英名はボトル ブラッシュといいます。

和名には金宝樹（キンポウジュ）の別名があります。花色は赤が主ですが、赤紫、桃、白、緑色があります。

### 1 種類

日本で栽培されるのは、主につぎの3種とその園芸品種です。

ア) カリステモン キトリヌス（ハナマキ、キンポウジュ）…寒さに強く、濃赤色の花穂は長さ10cm。5月頃咲きますが秋にも咲きます。1本だけ植えるのでしたら、本種の園芸品種‘エンデバーまたはスプレンドゥス’をお勧めします。樹形、花つきがすぐれ、本属中で最も美しい品種です。

イ) カリステモン リギドゥス（マキブラシノキ）…葉がマキの葉に似ており、中脈が目立ちます。

枝が横に広がるくせがあります。早咲きで3月から咲きます。おしべは濃赤色です。

ウ) カリステモン スペキオス（ブラシノキ）…直立性で高さは2～3mになります。鮮紅色のおしべが密につく穂状花序が特徴です。

### 2 定植

3月中旬から4月中旬が適期です。日当たりがよく水はけのよいところに、径30cm、深さも30cmくらいの穴を掘って、高さ30cmほどの苗であれば5～6cmに切り詰めて植えます。株間は1.2m X 0.75mくらいあけます。活着して葉が伸び始めたら、化成肥料(10-10-10)を1株当たり30～40g施します。開花株は花後に剪定するほか、2年に1回、伸びすぎた枝を切り戻します。

### 3 繁殖

ア) 挿し木…3月上旬に前年生枝の中央部を長さ10cmに切り、切り口を半日水につけて鹿沼土か赤玉土に挿します。6月に発根した苗を3号鉢にあげて、1年間養成します。

イ) 実生…開花後1年以上たって茶褐色になったさく果をとって乾かし、微細な種子をピートと川砂の混合にまきます。本葉3枚で鉢上げして、挿し木苗と同様に育てます。開花までには発芽してから5年かかります。